

## 開発建設部

みなとオアシスとは

「みなとオアシス」とは、国土交通省港湾局が、みなと（旅客ターミナル、ビーチ、緑地など）を活用した地域振興の一環として取り組んでいる施策です。市民参加によるみなとの賑わい交流拠点作りを行っている施設や地区を「みなとオアシス」として登録・認定を行います。

「みなとオアシス」として登録されると、みなとオアシス標章の使用、国土交通省のホームページでの情報発信等の広報支援、道路地図への掲載や道路標識の設置についての調整など、国からの支援を受けることができます。

平成21年3月末時点で全国の46港がみなとオアシスとして登録されています。（他に9港が仮登録）

みなとオアシスあざま

「みなとオアシスあざま」は、世界文化遺産の「斎場御嶽（うたき）」で知られる南城市にあつて、あざまサンサンビーチを中心とした体験滞在交流センターや海洋体験施設等で構成されています。

平成21年3月21日の海開きに登録証の交付を行い、この時には国際ジョイアスロン大会やストリートダンス大会のイベントも開催されるなど、市内外の住民交流の場となっています。

みなとオアシスもとぶ

「みなとオアシスもとぶ」は、古くから那覇と北部、周辺離島を結ぶみなととして栄えてきた「本部港」、クロワッサンアイランドで有名な水納島の玄関口「水納港」

で構成されており、本部海洋まつりや、ドルフィンセラピー、シーカヤック体験等の海洋体験活動を活かした地域の交流拠点となる取り組みを行っています。



みなとオアシスあざま（あざまサンサンビーチ海開き）



みなとオアシスもとぶ（本部海洋まつり）



沖縄総合事務局では3月19日付けで、中城湾港安座真地区（南城市）と本部港・水納港（本部町）を沖縄第1号となる「みなとオアシス」に認定しました。



# 沖縄みなとオアシス 第1号認定

